

成人指定

FOR ADULT ONLY

生
LOST
楽

W
i
i
i

x

D
j
e
e
t
a





もっと
奥まで...いいね?

おま〜

おま〜

おま〜

おま〜

おま〜

おま〜





もう、頭がふわつとしてね
ジータがいなければ自分で
処理するしかなかったよ

あ...
キミが協力的で、
んっ、助かるよ...

観察してた
つもり
だったのに



そんなに？



うい
ウイルが
どうしても...

...って顔
してたから...



ほら
□
ねえ
もつと

あ...あ...

ん...



でも
僕から見ると



キミだって
どうしてもって顔してる。



おま



ねえ、ジータ。

口でするより
指が好きだって
言ってたよね？

爪もちゃんと
切ってきた
からね



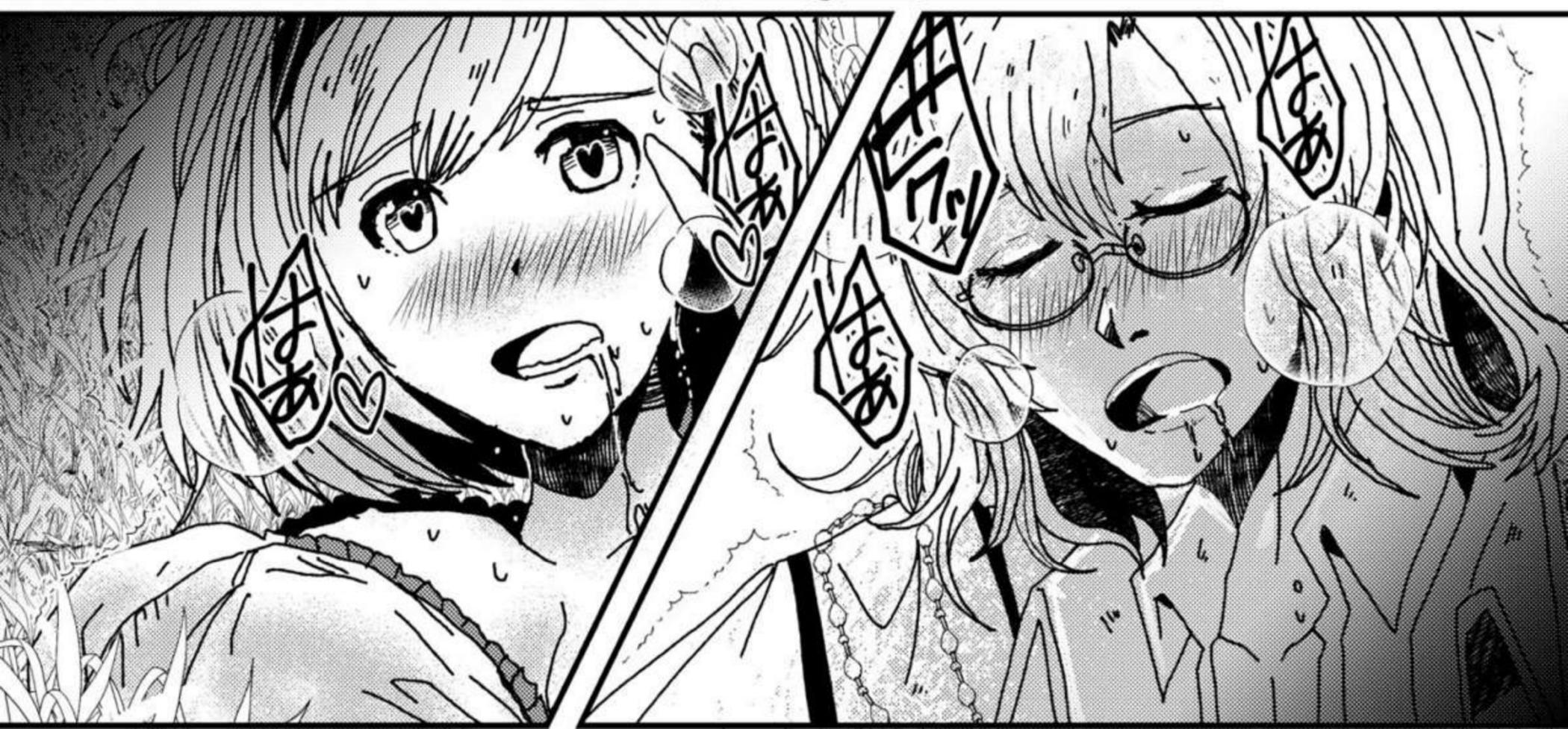
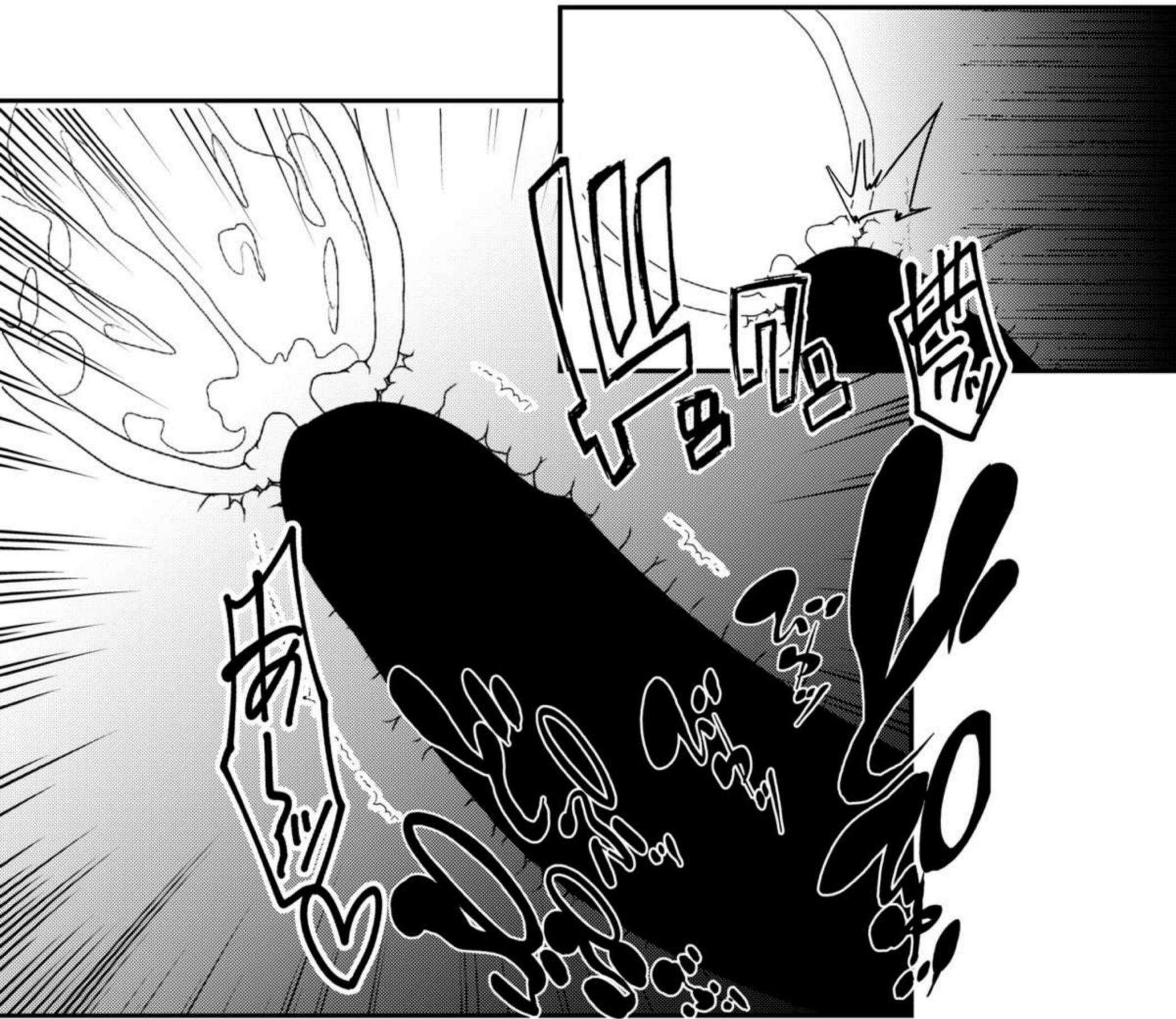
ごめんね
僕も流石にちよっと…

指だけじゃ限界なんで
濡れさせてもらおうよ





あー





いつからだろうか。

まさか、あの魔物にしか
興味がないウィルと
私はこういう関係になっ
ていて

団員の見えない
ところで
ひっそりと



ねえ…ねえ、魔物もいなく
なっちゃったみたいだし
僕達も休憩が終わったら
グランサイファーに…戻ろ？

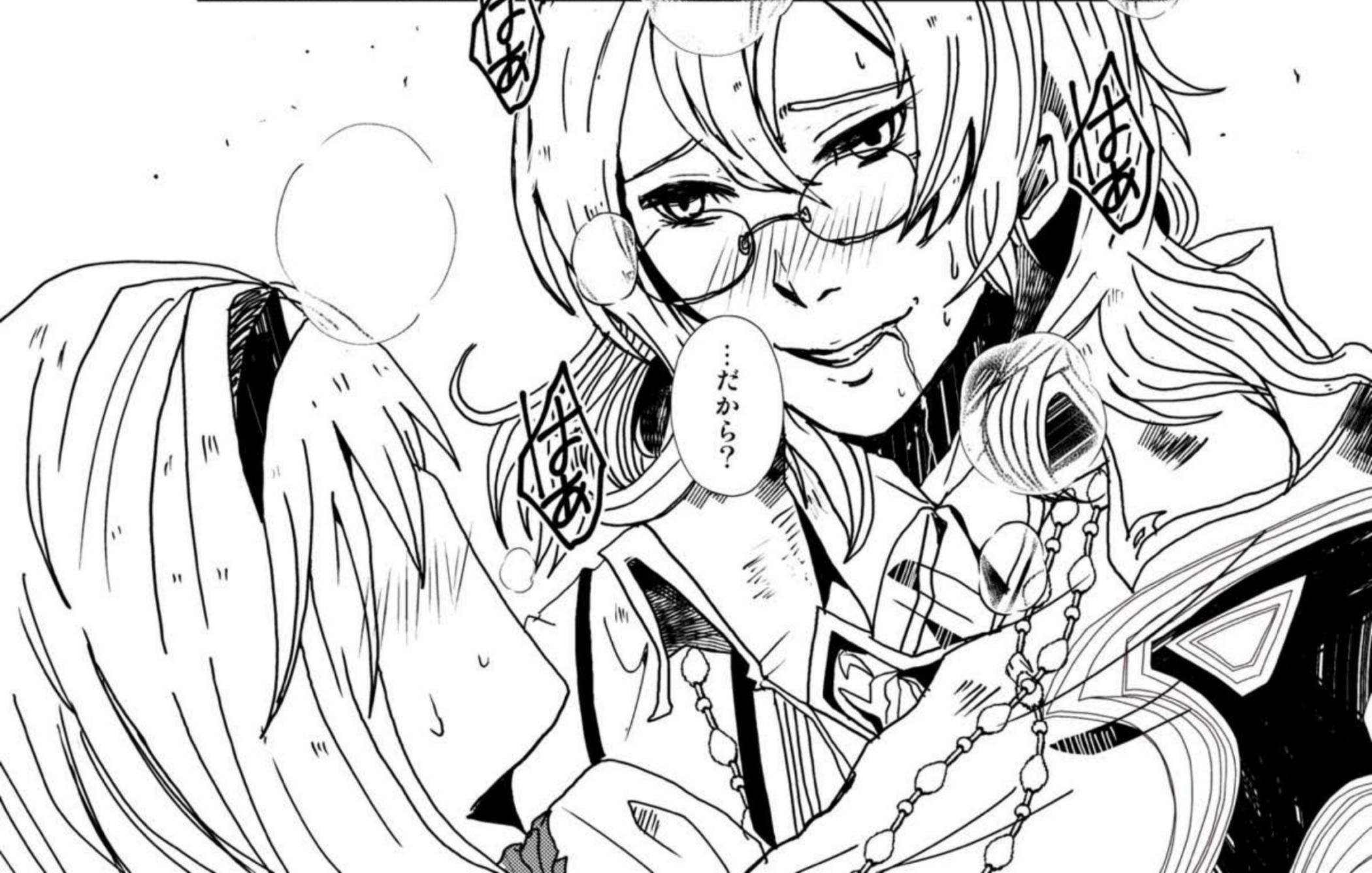
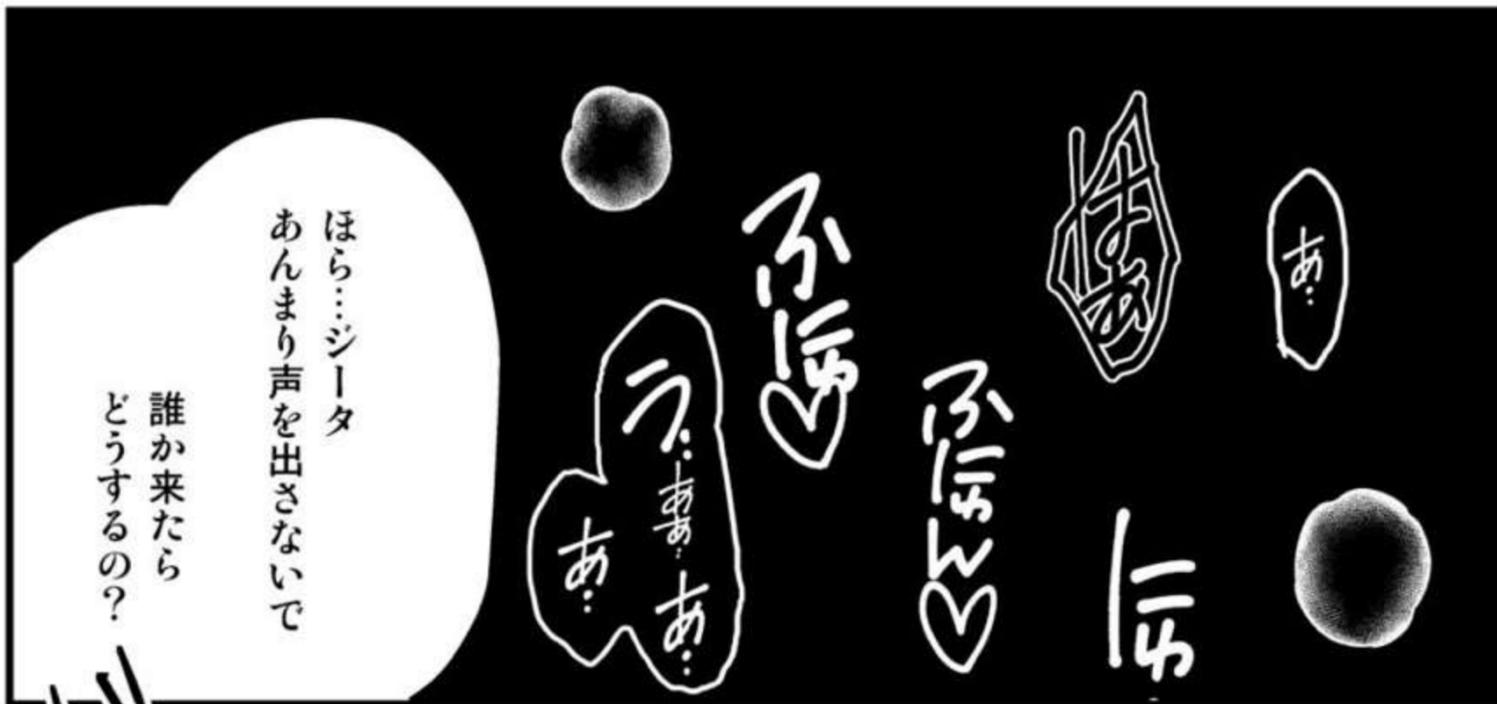
ん…ん…ウィル…





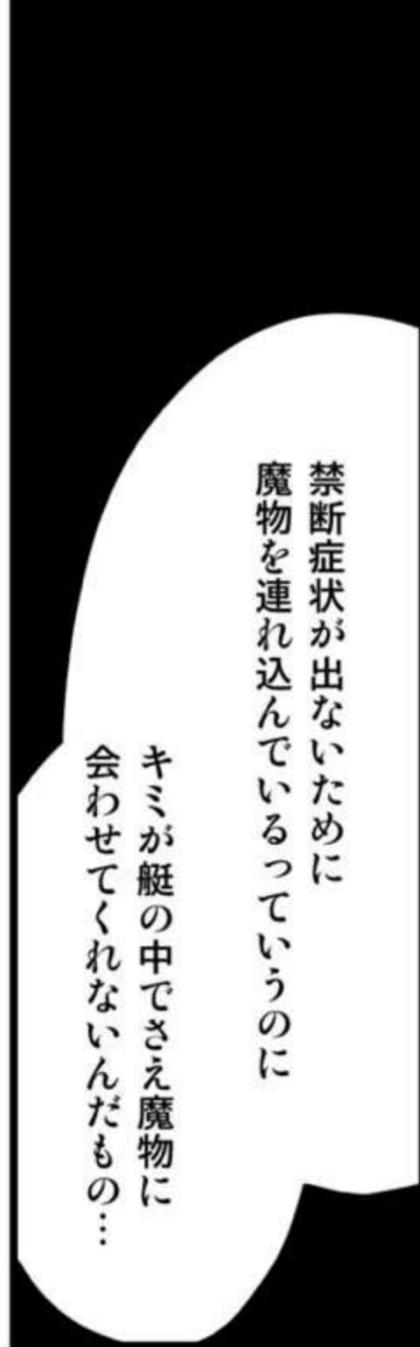
昨日も今日も
貪られている







僕だつてっ
頭がおかしく
なりそうだよ



禁断症状が出ないために
魔物を連れ込んでいるっていうのに

キミが艇の中でさえ魔物に
会わせてくれないんだもの…



魔物に会えないとね、
性欲がどうも
増しちゃうみたいでね





流石に胸元を
掴んでいても
スライムのような
感触はないし

皮膚に触れてて
カスケード
ジェリーのよう
な質感もない





ジータ

魔物に会えないとね

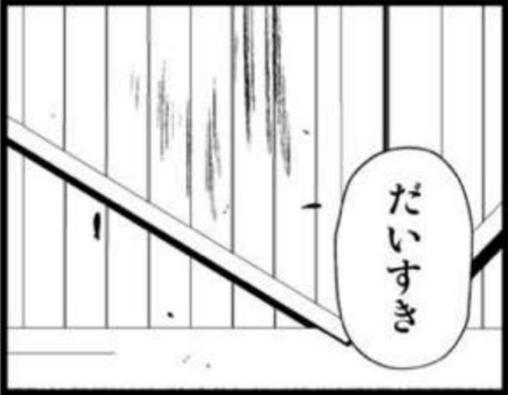
性欲がどうも
増しちゃうみたいでね
落ち着かないんだ

僕を魔物に会わせないのなら
キミと僕が二人っきりのときは

必ずこうなるのが
もうわかってるんだらう？









私のこと好きなら
今ここではしないで

今ここでは
しないで

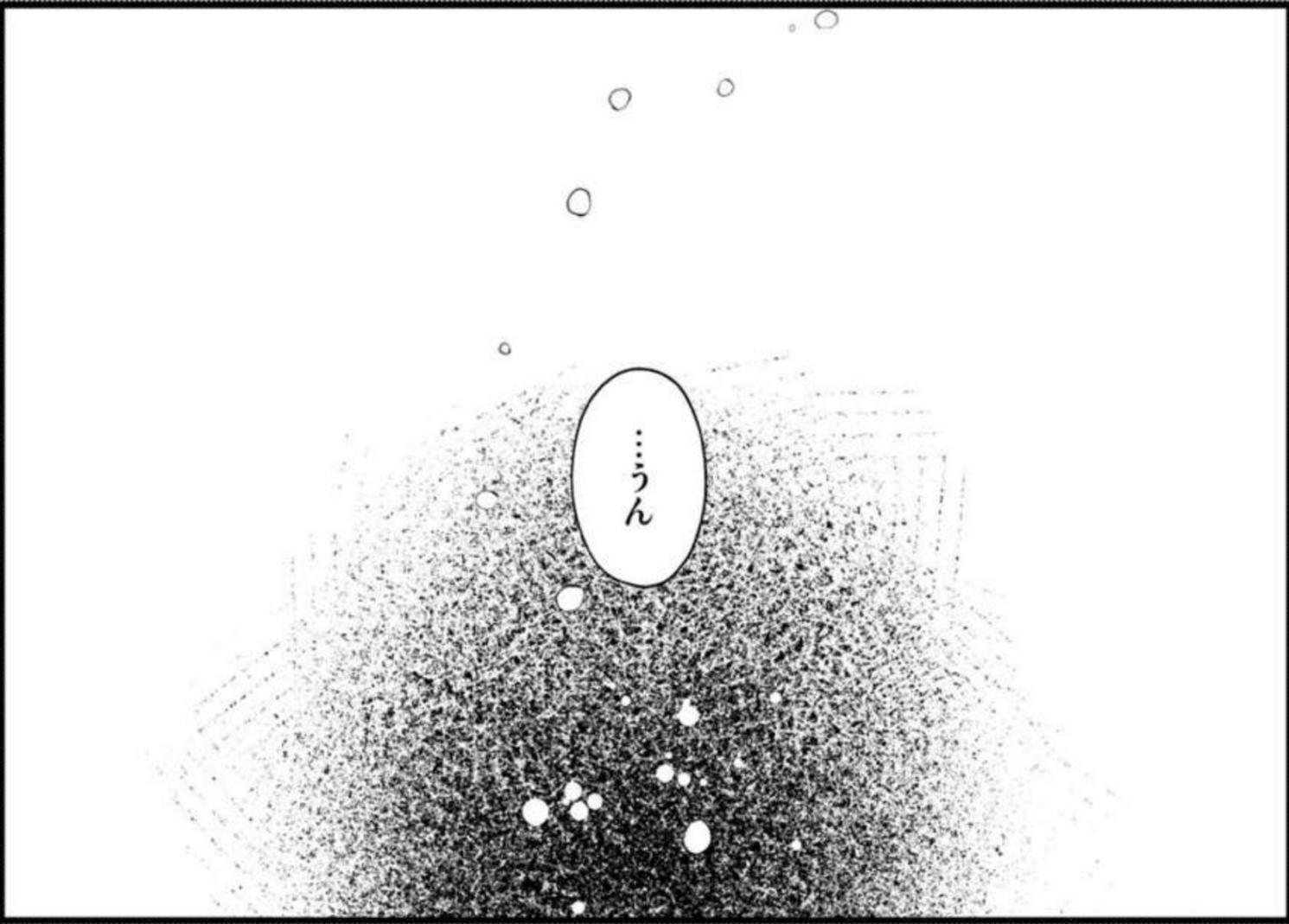
だって…
ウイルスのが

あふれちゃったまま
歩くの、つらい



じゃあ挿したりは

しなければ
いいんだね？

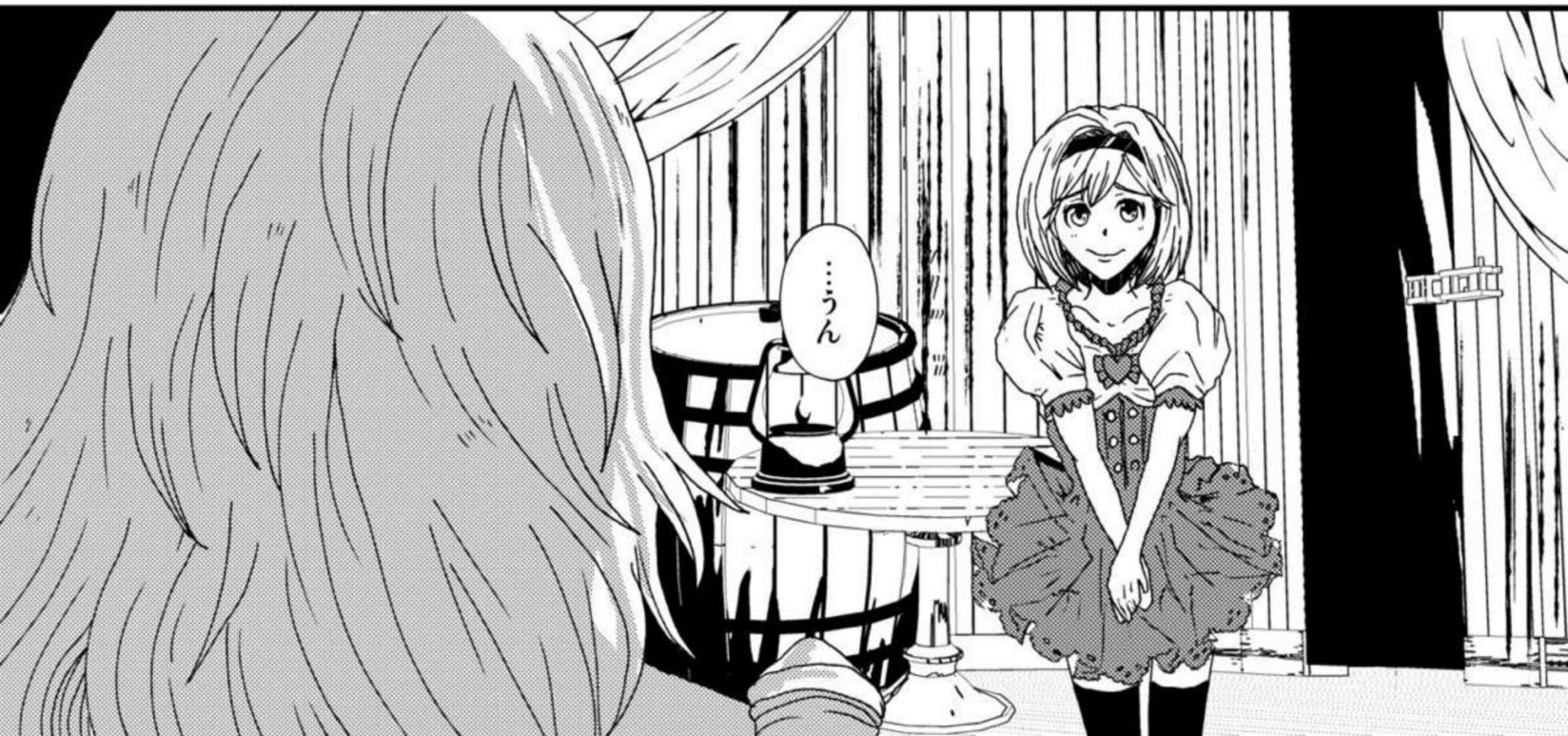
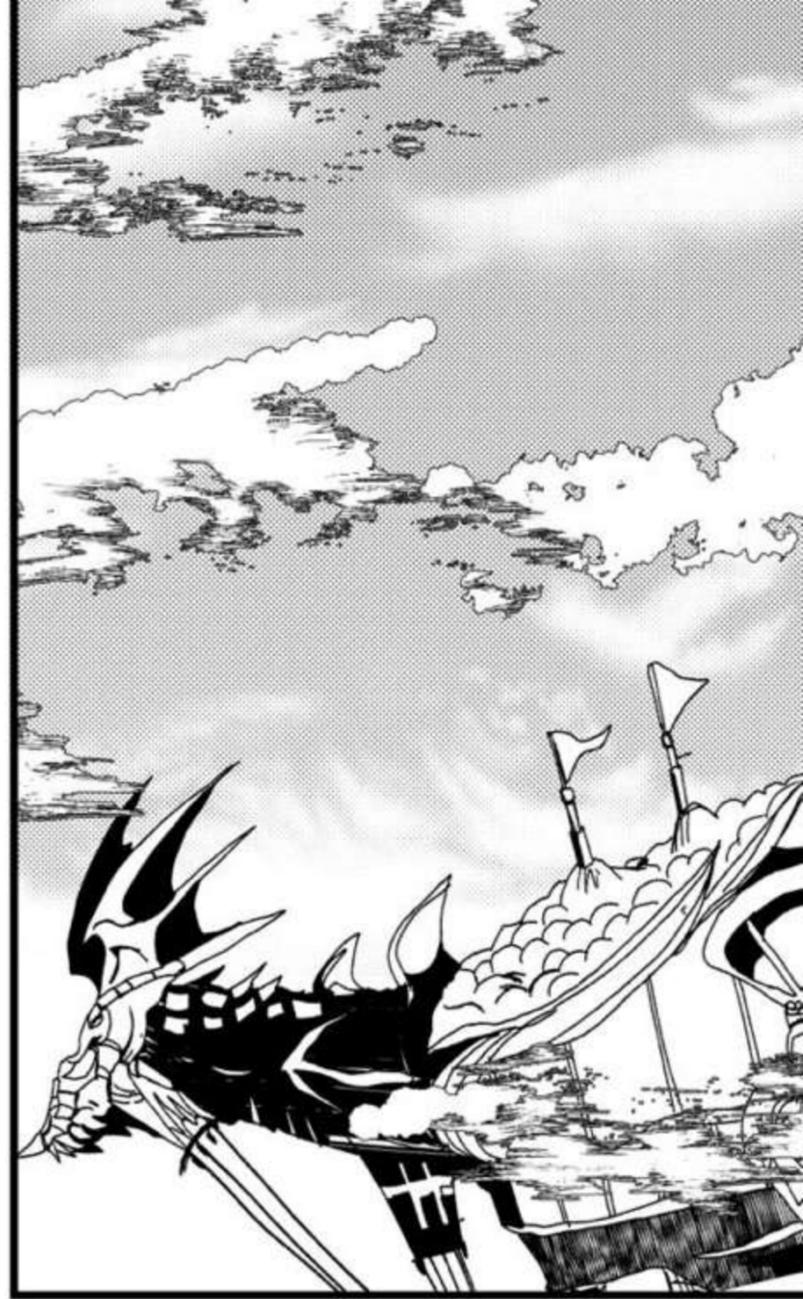
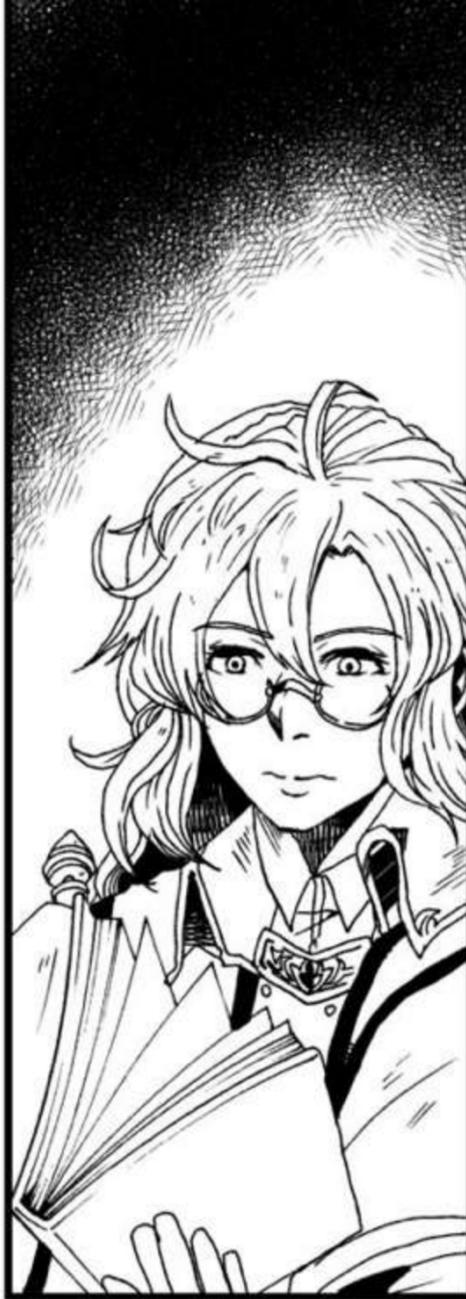


…うん











通りにしたよ

うん

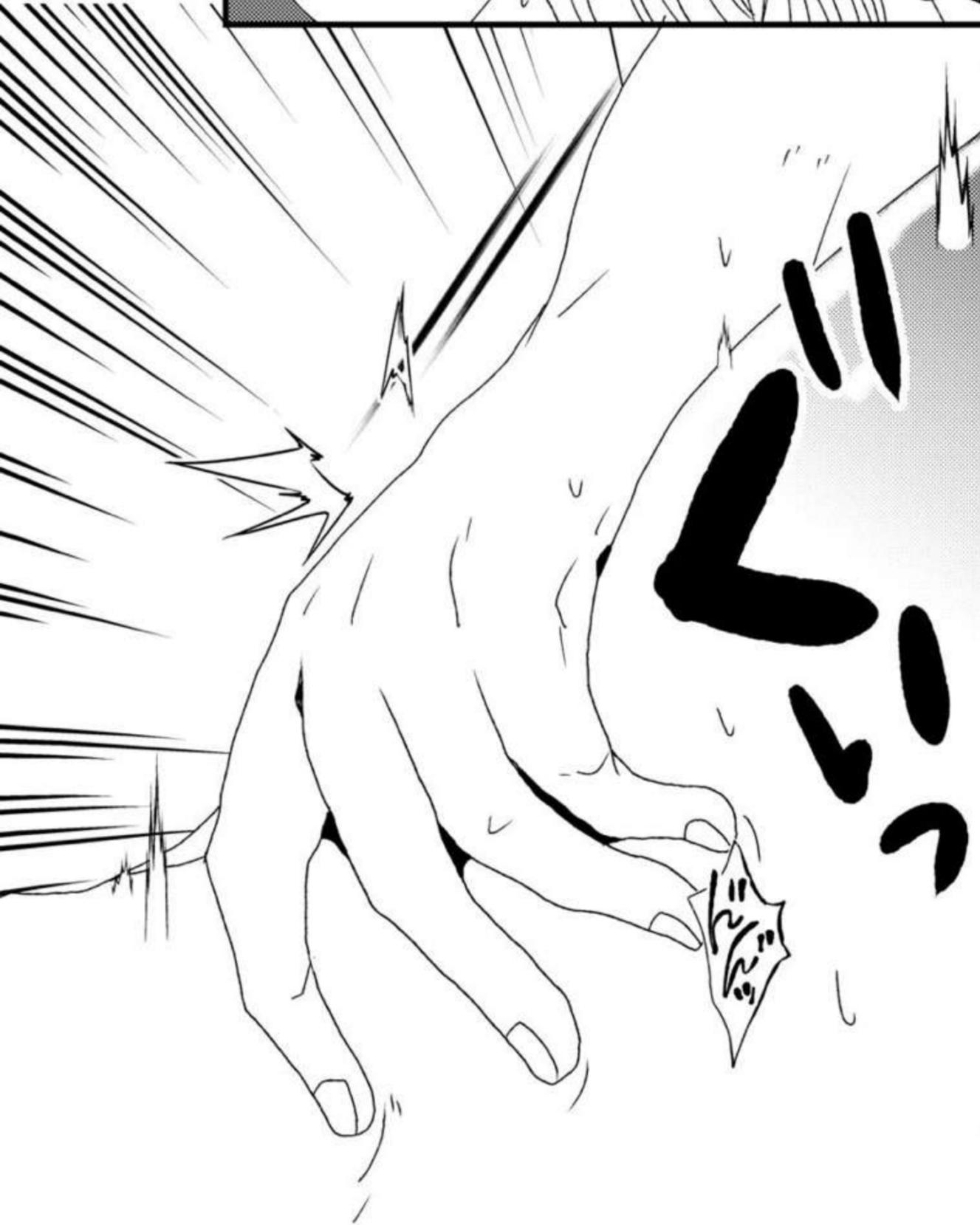
ハズレ

ウイルが言った

ああそうだ
ジータ

準備はできてる？









ううんいいの
ウイルスのためだから

大好きなウイルスの
ためだから



観察記録が
捗りそうに助かるよ…

ジータ
ありがとう

ジータ



ジータ
……?



僕も協力してくれる
ジータには感謝してるよ





ねえ

キミの中に
僕の形を残させて



ごめん…
どうやら僕もキミみたいに
色々だね…
人間ってこういう時に
調子が狂うのがどうもね





オ、オ、オ

オ、オ、オ
オ、オ、オ
オ、オ、オ

オ、オ、オ
オ、オ、オ
オ、オ、オ

オ、オ、オ
オ、オ、オ
オ、オ、オ

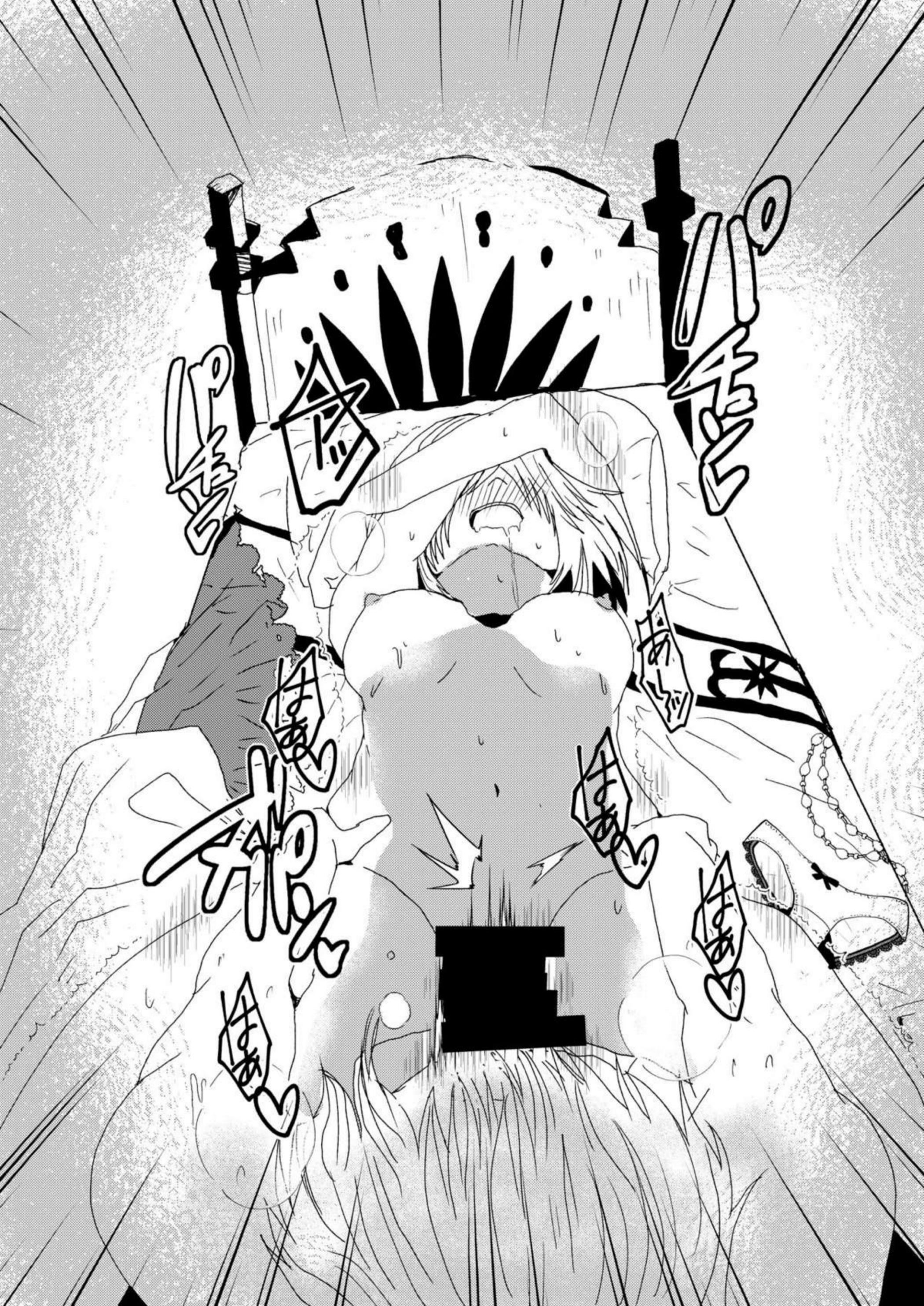
オ、オ、オ

オ、オ、オ
オ、オ、オ

オ、オ、オ
オ、オ、オ

オ、オ、オ

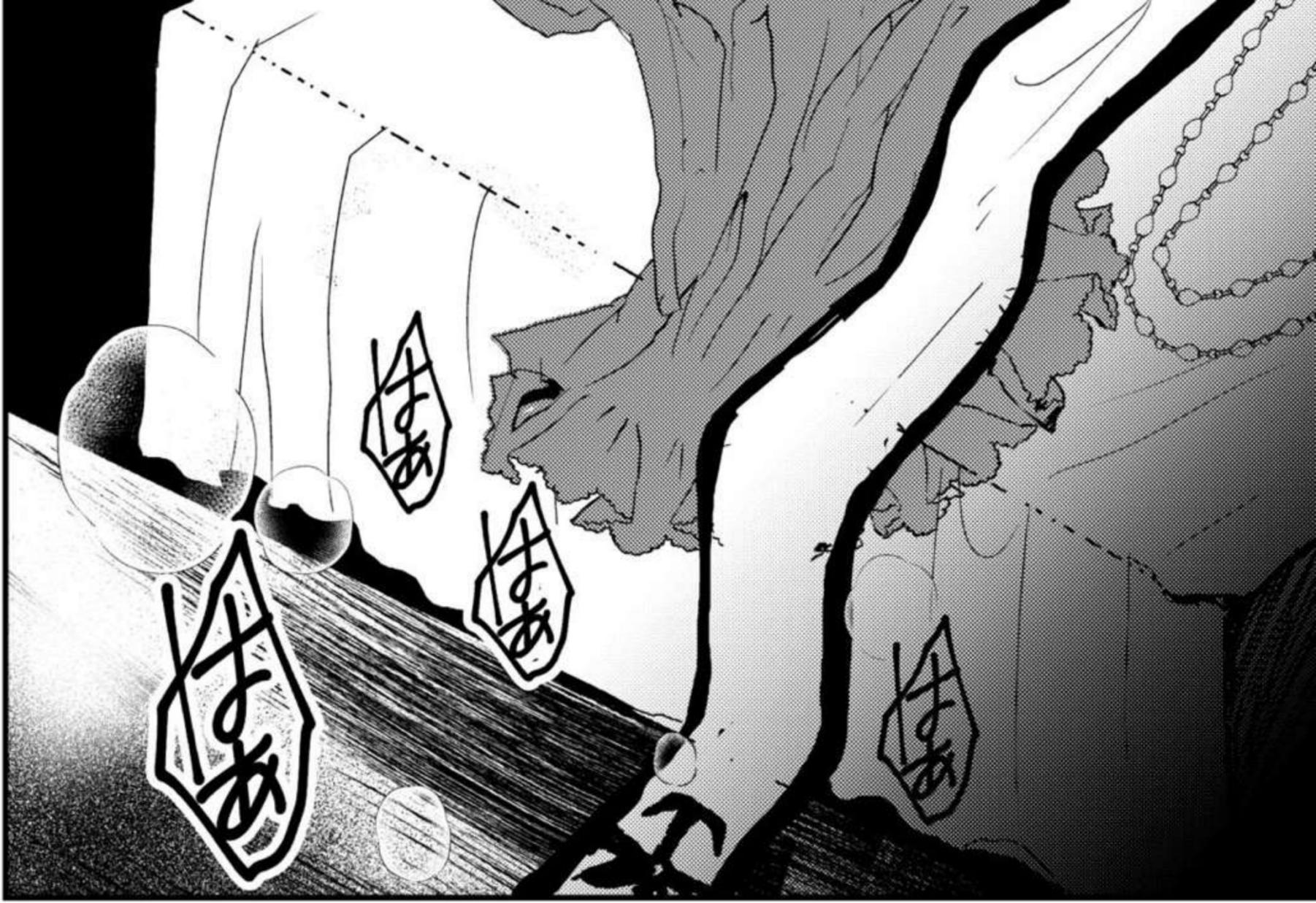
オ、オ、オ



ウイル
そろそろ、いい？

ああ





ジータ…
今度は、ここに
僕の子を宿してもらおうね



人間に子供が
できたのを目にした

魔物の反応が
気になるんだ



えっ

うん…ウイルの
あかちゃんほしい…っ

けど
突然どうしたの？

それはね、愛しい
子供の記録というか

キミと僕の子供の
観察日記もつきたいからね



いい子だね、ジータ
やっぱり君は神が与えし奇跡だ

神から授かったキミは
やっぱり素晴らしいよ……!



神様じゃ……

ないよ……

まじゅ

大丈夫だよジータ



僕とキミと新しい命で

いつか魔物観察に行けるといいね

うん…







愛してるよ

ジータ

…私も!

LOST/WILL × DJEETA
END.

GRANBLUE FANTASY
UNOFFICIAL FAN BOOK/#2

WILL/DJEETA * R18

先樂

PRESENTED BY DAPHNIS

「確かにキミとなら、素敵な夫婦になれるかもしれないね」
その言葉から始まった私達の関係は、
ひたすら身体を重ねあう日常だった。